

キャリア形成プログラム

(眼科学教室)

取得を目指す専門医資格

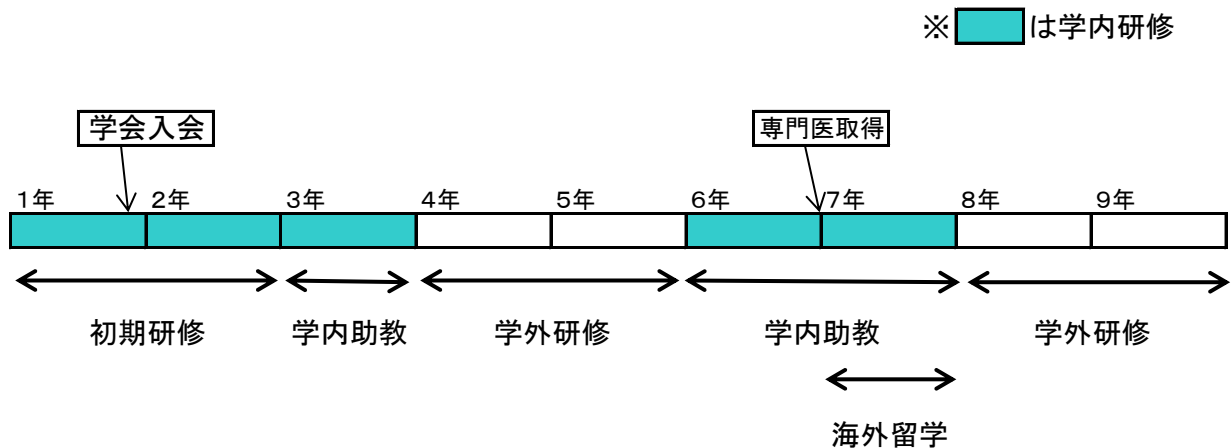
眼科専門医

【コースの概要】

全体像

初期研修中は各種眼科検査機器による検査、診断の習得および眼科一般診療と手術の基本手技の習得を目標とする。さまざまな疾患に対応できるよう指導医と共に診察する。後期研修開始後より翼状片、眼瞼下垂などの外眼部手術開始、3ヶ月後より白内障手術を開始する。同時に、希望があれば臨床研究や基礎研究を並行して行う。また後期研修開始時より大学院博士過程進学も可能であり、大学院卒業時には学位取得を目標とする。卒後7年目には斜視手術、網膜剥離手術、硝子体手術などの手術を習得済みであることを目標とし、この年に専門医試験を受験し、眼科専門医を取得する。希望に応じて大学教員もしくは医長として関連病院へ赴任、海外留学も可能である。

・9年間の研修予定(モデルコース)



指導体制

・研修先病院

学会認定施設	研修病院名	診療科	指導者数 (人)	うち専門医 数(人)	受入可能最大 人数(人)
×	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	眼科	2	1	2
×	和歌山ろうさい病院	眼科	1	1	2
○	国保日高総合病院	眼科	1	1	1
×	済生会有田病院	眼科	1	1	1
○	海南医療センター	眼科	1	1	1
×	国立病院機構南和歌山医療センター	眼科	1	1	1

・専門医について

学 会 名	日本眼科学会
資 格 要 件	医師免許 臨床研修を含む5年以上の臨床経験 日本眼科学会4年以上の会員歴 受験時に日本眼科医会会員であること 1編以上の論文雑誌掲載 学会報告2報告以上 内眼部手術20例以上